年間授業計画

上水　高等学校 令和８年度　　教科　芸術　　科目　工芸Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：　工芸Ⅰ　　単位数：　2　　単位

対象学年組：第　1 年次　A　組～　D　組

使用教科書：（　工芸Ⅰ（日本文教出版）　　）

教科　芸術　　の目標：　　芸術の特質について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする

【知識及び技能】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて制作方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする

【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，工芸の働きなどについて考え、心豊かに発想し構想を練ったり，工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】主体的に幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり工芸作品を愛好する心情を育む

科目　工芸Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて製作方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情をはぐくむとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身についている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 発想	表現 デザイン	表現 技能	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
一学期	オリエンテーション 創作活動としての工芸	オリエンテーション 創作活動としての工芸 基本的な工具の使い方 安全な作業の方法				○	【知識及び技能】 造形的な視点について理解する 【思考力・判断力】 デザインの働きなどについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 機能・デザインの目的や意図を読み取る	○	○	○	10
	多様な美意識への関心と理解を深める 立体的な装飾、球面を模様や色で構成する	工芸と生活の関わりについて考える 下絵、アイデアスケッチの描き方 木目込み鞠のストラップ（日本の伝統工芸）の制作	○	○	○	○	【知識及び技能】 木目込みの歴史を知り、デザイン・制作に活かす 【思考力・判断力】 造形的な視点から、自分の表現につなげる 【学びに向かう力、人間性等】 伝統文化に触れ、興味を深める	○	○	○	18
二学期	日用品のデザインを考える 自分の生活を振り返り、使いやすさ、デザインの美しさを考える	ダイヤモンドペンを用いたガラス工芸（グラスリッツェン）に取り組ませる 透明な素材を活かしたデザインを考えさせる 安全な作業のために必要な条件について考察させる	○	○	○	○	【知識及び技能】 ガラス素材の特性を知り、技法に活かす 【思考力・判断力】 透明な素材の特性を考え、自分の個性を活かすデザインを考える 【学びに向かう力、人間性等】 壊れやすい素材、やり直しがきかない素材に対して慎重に集中して向き合う	○	○	○	16
	金属素材の性質を考える 金属の様々な加工法について研究する	金属加工方法について、自ら調べる ビューターインゴットを素材とした指輪の制作に取り組む 金属の特徴をデザインに活かすことを考える	○	○	○	○	【知識及び技能】 金属の主な加工方法とその特性について理解する 【思考力・判断力】 溶接・切削・鋳造の方法と、その特徴を活かしたデザインを考える 【学びに向かう力、人間性等】 自由な発想で、自らの個性を表すデザインを創造する	○	○	○	18
三学期	布素材の特性と布製品のデザインについて考える 様々な染色方法について研究する	各種の染色技法について研究し、その特徴を考察する 型染め（ステンシル）を用いて、トートバッグの装飾に取り組む	○	○	○	○	【知識及び技能】 各種の染色技法（浸し染め・引き染め・型染め等）の手法とその歴史について知る 【思考力・判断力】 各種染色技法の特性を理解し、型染めの特徴を活かしたデザインを考える 【学びに向かう力、人間性等】 材料や形態に興味を持ち、自分のイメージを作品に表現する	○	○	○	16
											合計 78